

職員互助会総会を開催 会長 北面 豊

令和5年度慶徳会職員互助会総会を7月6日に本部研修室で開催致しました。

コロナ禍までは、会員がホテルで一堂に会して、決算・予算、新年度役員を選出や年間行事計画等について審議する総会を開催し、その後豪華なディナーを頂きながら会員同士の交流を深める一大イベントの場として楽しみました。だが、残念ながらこのたびも、委任状の提出を頂いた上での役員のための出席による総会と再開できるような努めてまいります。

そこで、新年度の行事計画を策定するにあたって、会員の皆様にアンケートを実施したところ、コロナ禍前のように日帰り旅行や観劇、スポーツを楽しみたいといった要望を沢山頂きました。

今後も法人全体の行事取組の状況を見ながら、感染防止に配慮しつつもイベントを再開できるように努めてまいります。

なりました。

委任状180名、総会出席者12名の計192名（全会員数214名）により、無事すべての議事について承認を頂きました。ありがとうございます。

この数年間は新型コロナウイルスの観点から、イベントの開催を見送り、その様なかでも会員の皆様に少しでも還元ができた

らと考へ、ギフトカードを進呈してきましたが、昨年度は、会員の皆様にもっと楽しんで頂けるよう、「くじ付きギフトカード」を進呈し、当選者には、QUOカード

3000円分がさらにもらえるという心躍るイベントとして好評で、当選した会員からは「いつもより豪華なお弁当を購入しました」「ガソリン代の足しになりとつても助かりました」などの喜びの声を聞くことができました。



総会で議案を説明する北面会長

互助会の目的である、職員の親睦を深め、法人の発展に寄与できるよう、これからも職員互助会をよろしくお申し込み申し上げます。

まずは、9月に数年ぶりの互助研修会

コロナ禍により、法人伝統行事の秋華祭・文化発表会（発表会）は、この3年間、中止又は「きらめきホール」でのご利用者の「生出演」を見合わせて頂いておりますが、この間の録画発表を通じて、新たな発見もありました。

何より、以前に比べ大勢の方がご出演下さったこと、

アットホームの環境でのびのびと演技をなさっていること、「ナマ」

では一発勝負となりませんが、

ゆとりをもって演技をして頂いていること、移動によ

るお疲れが見えないこと、さらには現地ではスタッフも含めて、他の事業所の演目鑑賞が極めて限られていたものが、

全プログラムを居ながらにして鑑賞できること等、「大きな

舞台でお客様の前で、発表し

令和6年2月16日
開催予定

秋華祭・文化発表会について

実行委員長 松本 里治

たい」というお気持ちにはお応えできませんが、これに余りあるメリットを実感した次第です。

そこで令和5年度も、仮にコロナ禍が収まったとしても前年方式で開催する方向で検討を進めていた矢先に「きらめきホール」が年末までリニューアル工事の知らせが入り、

一時は、がっかりしましたが、「ぜひ今年も発表したい!!」という皆様の熱意をおうかがいして、季節は秋ではありませんが、リニューアル仕立ての新春2月16日に発表会をさせていただきますので、

どうかご協力下さいますようお願い申し上げます。

映像による発表

は、2度にわたる試行錯誤を経て、さらに、発表技術が向上しており、実行委員一同とても張り切っていますので、ご出演に力を注いで頂きますとともに、映像鑑賞にも一層のご期待を頂ければと願っております。

は、2度にわたる試行錯誤を経て、さらに、発表技術が向上しており、実行委員一同とても張り切っていますので、ご出演に力を注いで頂きますとともに、映像鑑賞にも一層のご期待を頂ければと願っております。

は、2度にわたる試行錯誤を経て、さらに、発表技術が向上しており、実行委員一同とても張り切っていますので、ご出演に力を注いで頂きますとともに、映像鑑賞にも一層のご期待を頂ければと願っております。

は、2度にわたる試行錯誤を経て、さらに、発表技術が向上しており、実行委員一同とても張り切っていますので、ご出演に力を注いで頂きますとともに、映像鑑賞にも一層のご期待を頂ければと願っております。

は、2度にわたる試行錯誤を経て、さらに、発表技術が向上しており、実行委員一同とても張り切っていますので、ご出演に力を注いで頂きますとともに、映像鑑賞にも一層のご期待を頂ければと願っております。

は、2度にわたる試行錯誤を経て、さらに、発表技術が向上しており、実行委員一同とても張り切っていますので、ご出演に力を注いで頂きますとともに、映像鑑賞にも一層のご期待を頂ければと願っております。

外国籍職員紹介 第4弾!!

～光華・春菊・常清～



ドアンティ・トゥイ・ジェウさん

このたびも魅力的な外国籍の職員三人を紹介します。
一人目は、令和5年5月から光華苑の支援員として正規採用された、ベトナム国籍のドアンティ・トゥイ・ジェウさんです。
「養護老人ホームは初めてだけど、経験が広がり、勉強になる」と前向きな姿勢で頑張っています。目標は「早く仕事に慣れること」職員・ご利用者と信頼関係を築くこと」と向上心も旺盛で、これからが楽しみな職員です。



グエン・ティ・ゴック・リンさん

二人目は、同4年5月から春菊苑で介護補助員として勤務している、ベトナム国籍のグエン・ティ・ゴック・リンさんです。趣味は小説を読むこと。「ご利用者と話すのは楽しい」とご利用者とも真つ直ぐに向き合っています。先輩から指導を受け、一生懸命働きながら学んでいる姿が印象的です。現在昼間は専門学校に通いながら、休日や放課後に勤務し、卒業後は慶徳会の採用試験を受け、合格後は、正規職員として働く予定になっています。



チャン・ズオン・カンさん

三人目は、同5年4月から常清の里で介護福祉士として採用された、ベトナム国籍のチャン・ズオン・カンさんです。
学生時代は、2年間光華苑でアルバイトとしての勤務を経て、正規職員となりました。
配属当初から、真面目に一生懸命仕事に取り組み、日を追うごとに介護技術が向上してきますので、即戦力として活躍するとともに、将来は、常清の里の介護業務の屋台骨を担って貰える人材に成長するものと期待しています。また、ご利用者に対しても優しい笑顔で穏やかに接していることもあって、皆さんからの人気も上々です。
「日本に来るきっかけが両親の日本旅行の土産話でしたので、両親が両国をもつと行き来できるようになれば」と、家族思いの気持ちを打ち明けていました。